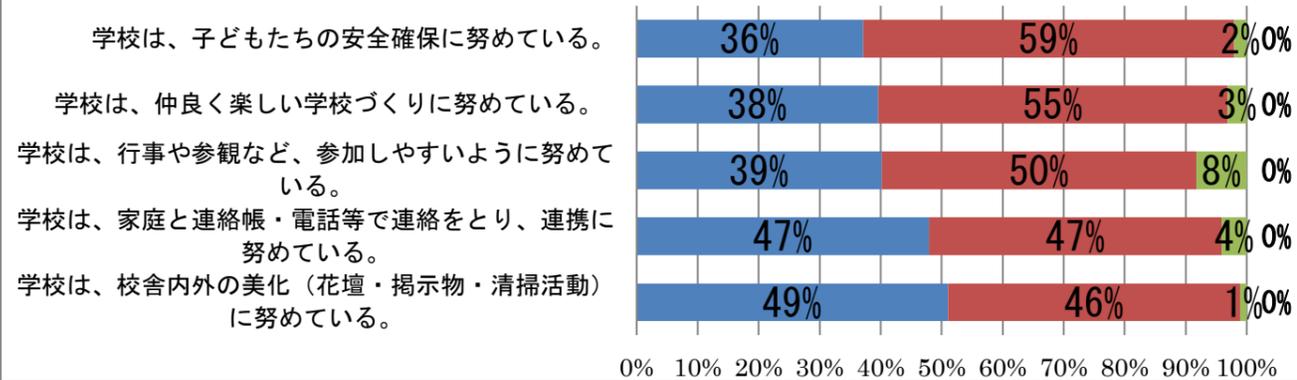


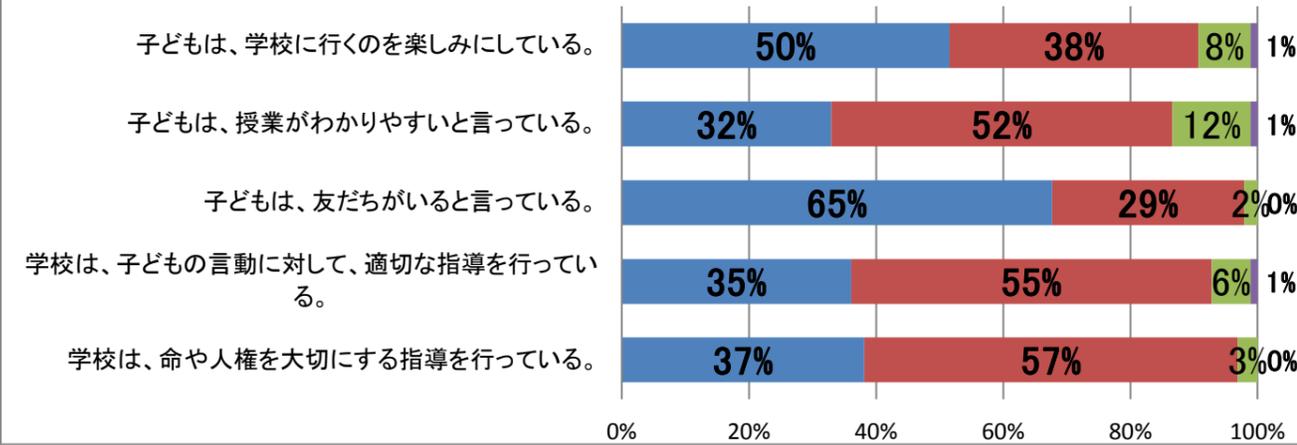
平成30年度 学校教育アンケートの結果について（報告）

保護者の皆様には、本年度の教育活動推進に対して、ご理解とご支援を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。昨年4月に新校舎に移転し、はや1年が終わろうとしています。この一年間を振り返り、取り組みについて評価して頂くべく、学校教育アンケート調査を実施させていただきました。以下の通り集計結果が出ましたので、ご報告させていただきます。

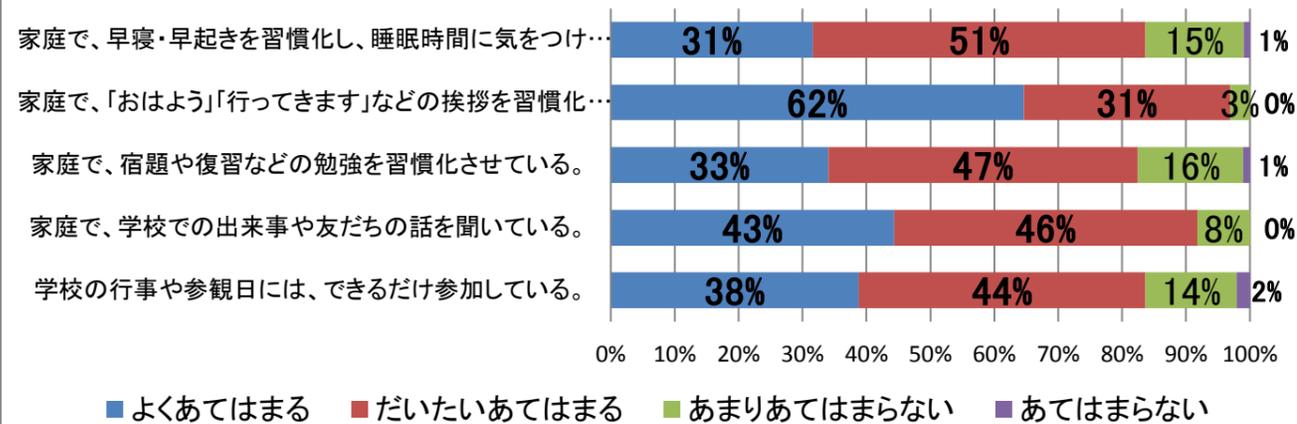
(1) 学校運営に関すること



(2) 教育活動に関すること



(3) 家庭に関すること



(無回答含まず)

アンケート結果について

(1) 学校運営に関すること

新校舎に移転して、一番心配していたのが、登下校の安全です。本年度も交通安全指導・自転車安全教室など、年間を通し、安全指導に継続して取り組んで参りました。傾向として、低学年が下校後に事故に遭う事が多く、安全に対する意識を高めるためDVDを活用した指導を徹底しました。引き続き下校後や休日でも、特に自転車等で事故に遭わないよう、家庭と連携して安全指導・事故防止に取り組んでいきたいと思ひます。

「仲良く楽しい学校づくりに努める」という項目についても、昨年に続いて一定の評価をいただいております。新校舎に移転しましたが、今後も児童の個性や一人一人の思いを大切に、何でも話し合える学級・学校づくりに努めていきたいと思ひます。

(2) 教育活動に関すること

本年度も「学校に行くのを楽しみにしている、友だちがいる」の項目が、昨年とほぼ同じの数字となっています。年度を重ねるごとに、児童同士が仲良くなってきた反面、気のゆるみやもめごとも見られました。今後も児童理解を大切に、教育活動を進めていきたいと思ひます。「授業がわかりやすい」という項目については、昨年より少し低い評価を頂きました。わかりやすい授業を目指し、全職員の共通理解のもと、わかば西小全体で取り組む内容など精査し、児童に合った学習指導を目指し取り組んでいきたいと思ひます。

(3) 家庭に関すること

「挨拶を習慣化させている」の数字が今年も高いです。学校教育目標の「にこやかに挨拶と返事ができる子」とあるように、前向きで、素直な児童に育ていきますよう家庭と連携し、いつでも誰にでも、にこやかに挨拶ができる子に育てていきたいと思ひます。

家庭での復習など習慣化については、本年度もあまりあてはまらないとの回答もあり、家で復習は宿題しかしていない、という児童アンケート結果と一致しています。学校では、自主学習ノートの取り組みを進め、自分から計画的に学習に取り組む児童の育成を目指しています。お手本となる例を、「自主学習ノートの達人」として校内に掲示しています。自分から学習する楽しみ・喜びを味わって欲しいです。

(4) 提案・感想等

- ・いつも校内はピカピカで行事も参加しやすい。子どもは、のびのびと学校生活を送っている。先生や地域の方が、登下校の見守りをさせていただいて安心できる。担任の先生と相談しやすい状況で有り難い。子どもから聞けない事もしっかり連絡いただいで安心している。子どもから聞くと、先生の言動が気になることがある。けんかやいじめの話を知ることがあるが、子どもの気持ちをよく考え、適切な言動できちんと指導して欲しい。道徳心をもっと身に付けさせて欲しい。体育大会の場所取り、音楽会の業者によるDVDの販売、名札や重い荷物は学校に置いておかせること等について、再度検討してはどうか。

- ・体力づくりで、他校でも行っているマラソン大会を実施してはどうか。土曜日のオープンスクールや参観を検討して欲しい。インフルエンザで出席停止期間のはずなのに、すぐに登校してくる子がいるようで心配である。参観日などで、授業中に写メや動画を見る、しゃべり声がうるさくて授業が聞こえないなどマナーが気になる。昨年は、自然災害が多かったので、子どもたちの安全確保の意識を高めて欲しい。

※ アンケートにご要望としてご意見いただきました、土曜日のオープンスクールや、学校行事については、今後も検討していきたいと思ひます。新校舎移転で心配していました登下校の安全確保については、地域・PTAの皆様にご協力いただき、大変感謝しております。今後も連携して取り組んでいきたいと思ひます。また、急な自然変災等による危機回避の連絡については、ミマモルメの活用等も検討していきたいと思ひます。今回のアンケートでいただきましたご意見は、今後の教育活動の資料とさせていただきます。ご回答ありがとうございました。今後とも、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。